



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小出 孝雄 (TEL) 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	7,988	△8.9	539	△48.8	514	△50.7	429	△51.0
2020年12月期第3四半期	8,771	△1.4	1,053	—	1,042	—	875	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 433百万円 (△50.5%) 2020年12月期第3四半期 875百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	49.66	49.54
2020年12月期第3四半期	101.84	101.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,841	3,015	51.5
2020年12月期	5,049	2,518	49.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,009百万円 2020年12月期 2,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年度12月期 通期	11,600	0.6	750	△33.9	700	△37.3	650	△42.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）株式会社滋賀レイクスターズ、除外 1社（社名）－
 （注）詳細は、添付資料P. 8の「（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	8,698,760株	2020年12月期	8,614,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	11,480株	2020年12月期	5,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	8,645,115株	2020年12月期3Q	8,600,096株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場規模は、「ファミ通ゲーム白書2020」によると、2019年に1兆2,140億円にまで成長し、2021年には1兆2,720億円に達すると予想されております。しかし、中国・韓国系企業のタイトルのシェアは年々増加しており、ゲームメーカーの競争環境は激化しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が進んでおり、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を主力事業としております。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のタイトル運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウをシェアリングすることで収益性を高め、タイトルの長期利益化・長期運営を実現しております。

また、当社は、既存産業のDXが進む2020年代において、「デジタルの力で繋がりを拡張する」というミッションの下、強みのDX技能をゲーム領域に加えスポーツ領域のコンテンツとコミュニティに投下し、クラブDXとファンタジースポーツとして事業化に取り組んでおります。

当第3四半期においては、巣ごもり特需の終了による既存タイトルの落ち込みと、新規獲得の遅れにより、前年同期比減収減益となりました。一方で中長期では国内スマートフォンゲーム市場は堅調に伸び続けており、当社のターゲット市場規模も順調に拡大するものと想定しております。当社においても、引き続き、獲得後の長期運営に必要な運営力、新規獲得に必要な競争力・渉外力を強化しながら、主力事業のゲームサービス事業の再成長を目指してまいります。

また、当第3四半期において、1タイトルのエンディングを行い、2021年9月末時点での運営タイトル数は32となっております。

クラブDX事業では、FC琉球の物販・ファンクラブ事業において、デジタルインフラの構築、業務フローの全体最適化によって、継続的な成果を得ることができております。2021年9月には、滋賀県大津市をホームとするプロバスケットボールクラブを運営する株式会社滋賀レイクスターズの株式75%を取得し、FC琉球との取組みで示した当社DX技能を活用しクラブDX事業の横展開を開始いたしました。

ファンタジースポーツにおいては、新たな競技への横展開となる「B. LEAGUE#LIVE2021」を2022年の1Qにローンチすることが決定いたしました。また、2021年6月にローンチした「プロ野球#LIVE2021」のKPI分析、検証を進めるとともに、22年シーズン向けとなる「プロ野球#LIVE2022」のローンチに向けた準備を進行しております。国内のファンタジースポーツ領域のNo. 1を目指し、省庁を含めた議論の場への情報提供を行い、適正な国内市場の形成を牽引し、NFTと掛け合わせることで、事業成長を加速させます。

なお、当第3四半期において、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響は限定的です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,988,203千円（前年同期比8.9%減）、営業利益は539,791千円（前年同期比48.8%減）、経常利益は514,283千円（前年同期比50.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は429,355千円（前年同期比51.0%減）となっております。

なお、当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて791,321千円増加し、5,841,188千円となりました。これは主に、株式会社滋賀レイクスターズの子会社化による現金及び預金等の増加（前連結会計年度末比592,735千円の増加）などがあったことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて294,197千円増加し、2,825,337千円となりました。これは主に、長期借入金の増加（前連結会計年度末比520,387千円の増加）などがあったことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて497,123千円増加し、3,015,850千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比5,202,219千円の増加）があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月12日公表した決算短信における連結業績予測から修正は行っておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,755,830	3,348,566
売掛金	1,165,013	1,057,195
未収入金	27	10,262
未収還付法人税等	6,825	32,359
その他	190,547	299,046
貸倒引当金	—	△2,816
流動資産合計	4,118,243	4,744,613
固定資産		
有形固定資産	61,935	77,037
無形固定資産		
のれん	125,817	245,646
その他	30,334	31,980
無形固定資産合計	156,152	277,627
投資その他の資産		
投資有価証券	152,919	205,650
敷金	171,447	116,351
長期前払費用	107,400	188,200
繰延税金資産	281,203	230,998
その他	564	708
投資その他の資産合計	713,534	741,909
固定資産合計	931,623	1,096,574
資産合計	5,049,867	5,841,188
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,084	215,129
未払金	321,861	154,506
1年内返済予定の長期借入金	100,000	185,008
1年内償還予定の社債	638,750	400,000
未払法人税等	50,230	70,325
賞与引当金	—	37,511
その他	387,020	378,253
流動負債合計	1,775,946	1,440,734
固定負債		
長期借入金	50,000	570,387
社債	700,000	800,000
資産除去債務	5,193	11,177
繰延税金負債	—	3,038
固定負債合計	755,193	1,384,603
負債合計	2,531,140	2,825,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,076,557	46,483
資本剰余金	3,057,113	1,387,290
利益剰余金	△3,629,198	1,573,021
自己株式	△353	△353
株主資本合計	2,504,119	3,006,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,107	3,533
その他の包括利益累計額合計	△1,107	3,533
新株予約権	15,715	5,875
非支配株主持分	—	—
純資産合計	2,518,726	3,015,850
負債純資産合計	5,049,867	5,841,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,771,976	7,988,203
売上原価	4,728,691	4,732,018
売上総利益	4,043,285	3,256,184
販売費及び一般管理費	2,989,639	2,716,392
営業利益	1,053,645	539,791
営業外収益		
受取利息	24	25
為替差益	—	3,312
法人税等還付加算金	465	70
還付消費税等	26	—
消耗品売却収入	2,081	—
その他	38	55
営業外収益合計	2,636	3,464
営業外費用		
支払利息	5,392	4,904
社債発行費	—	9,539
社債利息	7,501	4,002
投資事業組合運用損	—	8,751
その他	428	1,773
営業外費用合計	13,321	28,972
経常利益	1,042,960	514,283
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36,490
新株予約権戻入益	378	9,840
特別利益合計	378	46,330
特別損失		
固定資産除却損	2,640	2,260
減損損失	54,569	2,530
特別損失合計	57,209	4,791
税金等調整前四半期純利益	986,128	555,821
法人税、住民税及び事業税	85,883	75,092
法人税等調整額	24,407	51,374
法人税等合計	110,291	126,466
四半期純利益	875,836	429,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	875,836	429,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	875,836	429,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	4,641
その他の包括利益合計	69	4,641
四半期包括利益	875,906	433,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875,906	433,997
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 譲渡制限付株式報酬

当社は、2021年4月15日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月14日に譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行いました。それに伴い、第3四半期連結累計期間において資本金が36,483千円、資本剰余金が36,483千円それぞれ増加しております。

(2) 減資及び剰余金の処分

当社は、2021年3月25日開催の定時株主総会決議に基づき、2021年6月1日に減資及び剰余金の処分を行いました。それに伴い、第3四半期連結累計期間において資本金が3,066,557千円、資本剰余金が1,706,306千円それぞれ減少し、利益剰余金が4,772,863千円増加しております。

上記の結果、第3四半期連結累計期間において資本金が46,483千円、資本剰余金が1,387,290千円、利益剰余金が1,573,021千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、株式会社滋賀レイクスターズの株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

企業の名称 株式会社滋賀レイクスターズ

事業の内容 スポーツクラブの経営及びスポーツイベントの企画、運営、主催等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、主力のゲームサービス事業に次いで、スポーツDX事業に注力しております。2021年2月よりFC琉球を運営する琉球フットボールクラブ株式会社からB2C事業を受託し、事業運営や事業管理のデジタルトランスフォーメーションを実行し事業成果を生みつつあります。今回の株式取得による経営参画を通して、当社がFC琉球で行ってきたクラブ運営DXをさらにB2B事業や興行運営、経営管理などクラブ経営全般に広げて推進してまいります。

(3) 企業結合日

2021年9月22日(みなし取得日2021年9月30日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

取得前 ー%

取得後 75%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価に株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

被取得企業の2021年9月末をみなし取得日としているため、当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得対価	現金及び預金	90,000千円
取得原価		90,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 6,200千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

169,061千円

なお、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、当該のれんは暫定的に算定されたものとなります。

(2) 発生原因

被取得企業の時価純資産が取得原価を下回ったため、当該差額をのれんとして認識したことによります。

(3) 償却方法および償却期間

10年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	300,951千円
固定資産	14,683千円
資産合計	315,635千円

流動負債	197,586千円
固定負債	197,110千円
負債合計	394,697千円

(重要な後発事象)

(連結子会社による孫会社の吸収合併)

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、2022年1月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社マイネットゲームスが、株式会社マイネットゲームスの子会社である株式会社MYLOOPSを吸収合併することを決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 株式会社マイネットゲームス
事業内容 ゲームサービス事業

(吸収合併消滅会社)

名称 株式会社MYLOOPS
事業内容 ゲームサービス事業

② 企業結合日

2022年1月1日

③ 企業結合の法的形式

株式会社マイネットゲームスを存続会社、株式会社MYLOOPSを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社マイネットゲームス

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、ゲームサービス事業を営む両社の経営資源を集約させることで、経営の合理化、効率化を図ることを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。